

平成30年度 市民の声一覧(平成30年4月分～9月分)

受付月	分類	件名	市民の声の内容の概要 (公表用)	回答(対応)内容の概要 (公表用)	担当課
4月	その他	市長は高知市歌を空で歌えるか	<p>2月の高知新聞に竹本源治の詩「戦死せる教え児よ」に作曲したことで、それなりに詳しく報道され、ご存知のことと拝察致します。加えて、伊野出身の(滝廉太郎の詩「花」♪春のうららの隅田川上り下りの舟人の權のしづくも千金の…以下略)や「荒城の月」=佐川町出身の土井晩翠の詩に作曲した平井保喜 後年に康太郎に改名し、後に「♪黒潮のたぎる荒磯に天かける大鵬なして高き理想の強くはばたく見よ土佐の心臓雄々したくまし我等の高知♪」2番～4番省略の「高知市歌」も作曲したのが平井保喜でした。</p> <p>他の人と比較するのは失礼に当たるやも知れませんが、梅ノ辻から毎朝弁当を下げ、潮江天満宮を徒歩で渡り歩いて市役所に登庁された横山龍雄旧市長は市民の絶賛を呼びました。〇〇から通われる貴兄に「同様にせよ」と呼びかけるのは酷でありましょう。</p> <p>敢えてこれを述べるのは横山旧市長は空でこの「市歌」を歌っていました。貴兄はそれができますか。</p> <p>その可非は高知市(民)を芯から愛しているか否かに係かるのです。良く胸に手を当ててご願み下さい。お独りのいま暗唱できなさるのか頭の中で歌ってみて下さい。どうでしたか。</p> <p>このことはオーテピア西空地に企業と組んで50年間も利益を得させるのか否かにかかっている高知市長の基本的姿勢に直結する由々しき問題なのです。ご回答をお待ちしております。</p>	<p>高知市歌は、昭和23年に制定され、高知市では朝の始業時に毎日放送で流しており、職員にはなじみ深いものとなっております。</p> <p>ご質問にありました市歌につきましては以前から歌っておりますし、本市の行事の節目において、率先して歌っているところであり、頂きましたご意見に感謝いたします。</p> <p>ご意見を賜りました新図書館西敷地の今後の利活用に関しましては、プロポーザル方式により選定された優先交渉権者の提案内容について現在検討しているところでございます。これからの高知市中心市街地の発展にかかわる大切な場所であることも踏まえまして、その課題について検討を行っているところでありますので、一定の方向性が決まりました時には、市議会とも協議してまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p>	秘書課